

第5回次世代ポリオレフィン総合研究会プログラム

開催日: 2010年8月5日(木)& 6日(金)

開催場所: キャンパス・イノベーションセンター, 国際会議室(東京, JR田町駅より海側へ徒歩1分)

1/2 pages

8月5日(木)	発表者	座長	所属	講演題目
10:00-10:10	寺野 稔(開会の辞)	宮竹	北陸先端大学院大学	
10:10-10:30	谷池 俊明		北陸先端大学院大学	MgCl ₂ 担持型Ziegler-Natta触媒の機能発現機構に関する実験科学的・理論化学的検討
10:30-10:50	河村 幸伸		金沢大学	回転成形法によるポリエチレン系積層構造体の調製とその力学特性評価
10:50-11:10	齋藤 雅由		東邦チタニウム	強磁場固体NMRによるチーグラール・ナッタ固体触媒成分の構造解析
11:10-11:20	休憩			
11:20-11:40	真島 和志		大阪大学	
11:40-12:00	永松 龍弘		住友化学	易加工性ポリエチレンEPPEの特徴と用途展開
12:00-12:20	物井 尚志		日本ポリケム	シリカ担持アルキルクロム錯体によるエチレン重合
12:20-13:10	昼食			
13:10-13:50	谷口 正俊(基調講演)	寺野	大塚化学	ポリオレフィンの省エネルギーへの貢献と医用用途
13:50-14:10	澤口 孝志		日本大学	精密熱分解を基盤としたポリオレフィンの高機能化
14:10-14:30	栗原 隆史		電力中央研究所	放射線劣化架橋ポリエチレンケーブルの化学発光特性
14:30-14:50	山田 理恵		東北電子産業	化学発光法によるポリオレフィンの安定性評価について その2
14:50-15:00	休憩			
15:00-15:20	藤原 幹彦	岡本	日本ポリプロ	CAEを用いたPBS/PP多層射出成形品の界面密着強度予測手法
15:20-15:40	小坂田 耕太郎		東京工業大学	Ni, Pd 触媒を用いたオレフィンの異性化重合
15:40-16:00	豊田 昭徳		東京農工大学	高分子反応法による嵩高い炭化水素基含有ポリマーの合成とその性質
16:00-16:20	野村 琴広		首都大学東京	オレフィンの重合・2量化に有効なバナジウム錯体触媒の設計・創製: 配位子による反応性の精密制御
16:20-16:30	休憩			
16:30-16:50	Mohammad Rohizat Abd. Aziz	魚住	Technical Service Manager, Asia Pacific, W.R. Grace Specialty Chemicals (Malaysia) Sdn. Bhd.	Slice technology for metallocene and scale up capability
16:50-17:10	田村 聡		プライムポリマー	二軸延伸用PPの延伸性解析と樹脂設計
17:10-17:30	西村 寛之		京都工芸繊維大学	ガス用ポリエチレン樹脂の耐久性評価
17:30-17:50	徳満 勝久		滋賀県立大学	ポリシランを用いたポリオレフィン系材料の融着特性

18:30-20:30 懇親会(つばめグレル品川駅前店) 司会:佐藤

(次ページへ続く)

(前ページより続き)

2/2 pages

8月6日(金)	発表者	座長	所属	講演題目
9:00-9:40	寺倉 清之(基調講演)	筒井	北陸先端大学院大学	化学反応の素過程を第一原理計算によって解明する:方法の概略と具体例
9:40-10:00	塩野 毅		広島大学	1-アルケンのアルキル鎖長が重合速度におよぼす影響-架橋フルオレニルアミドジメチルチタン触媒の場合-
10:00-10:20	牧野 智成		シヤチハタ	文具事務用品・日用品が期待する樹脂材料
10:20-10:40	中谷 久之		北見工業大学	易光分解性ポリプロピレンの開発
10:40-10:50	休憩			
10:50-11:10	田島 慶三	長谷部		石油化学と税制について
11:10-11:30	小柳津 英知		富山大学	ポリオレフィンの需要変動と寡占化の影響
11:30-11:50	小林 俊哉		富山大学	文部科学省『科学技術動向』に見る、石油化学技術の位置付け
11:50-12:10	篠崎 香織 永田 晃也		東京富士大学 九州大学	石油化学メーカーにおける部門間知識移転 -質問票調査データに基づく死の谷の要因分析-
12:10-13:00	昼食			
13:00-13:20	三谷 祥子	郷	三谷国際特許事務所	今すぐ使ってほしい技術者・研究者のための明細書作成テクニック -知財部もまだ知らない?最新EP規則に対応する実験結果とクレームの書き方-
13:20-13:40	黒川 秀樹		埼玉大学	層状粘土鉱物層間に固定化した後周期遷移金属錯体によるエチレンの重合
13:40-14:00	表 研次		イデアルスター	大面積フィルムの単結晶化への挑戦 …高分子単結晶状フィルムの紹介…
14:00-14:20	大西 誠人		テルモ	医療における高分子材料の進展
14:20-14:40	佐藤 慎一		豊田通商	植物由来ポリエチレンについて
14:40-14:55	休憩			
14:55-15:15	勝浦 嗣夫	内野	日本プラスチック工業連盟	温暖化対策へのプラスチックの貢献
15:15-15:35	松木 智昭		三井化学	官能基/極性セグメントの導入によるポリオレフィンの高機能化
15:35-15:55	武石 一路		東セロ	高機能性フィルム-包装用フィルムを中心として-
15:55-16:15	合田 宏史		プライムポリマー	長繊維GFPPによる自動車部品軽量化への取り組み
16:15-16:35	秋山 正毅、堀田 篤		慶應大学	ポリプロピレンの立体規則性と形状回復現象
16:35-16:45	郷 茂夫(閉会の辞)		プリディクション郷事務所	